

# 湯本幼児学園だより 2月



箱根教育合言葉

～箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく～



令和4年2月28日(月)

湯本幼児学園

立春を過ぎ少しずつ春の気配を感じられるようになってきました。子ども達は元気いっぱい戸外での活動を楽しんでいます。早いもので、卒園進級まで後1か月となりました。大好きな友達と一緒に好きな遊びを楽しんでいる姿は笑顔があふれ、見ているこちらまで、楽しい気持ちにさせてくれます。異年齢の関わりもコロナ禍の中、意識的に交流をしてきましたでしたが、なかよし組からきりん組へ。そして、ぺんぎん組へと受け継がれていくものは沢山あります。子ども達の優しい気持ちが育まれていることを感じる場面をたくさん見ることが出来ました。日々ハートフル。何か問題が起きた時みんなで考える仲間がいる。困った時に助け合える仲間がいる。みんなの力を合わせればやりたいことが実現できる。今のなかよし組は沢山の経験から子ども達が自ら考えを出し合って活動を展開してきました。

乳児の時から安心安全な場で自分の思いをたくさん出し、それを受け止めてくれる先生がいて、褒めて認めてもらえることで自己肯定感を高め、自信を持って活動するようになります。

卒園、進級まで、子ども達がたくさん思い出を作り、健やかに成長していけるように関わっていきたくと思います。一緒に子ども達見守っていきましょう。よろしくお願ひします。

## お雛様作ったよ

3月3日の桃の節句に向けて、幼児クラスの子ども達が、お雛様を作りました。ぺんぎん組はコーヒーのフィルターをペンで染め身体にして顔をつけて画用紙に貼りました。きりん組は、紙粘土に絵の具で色を付け顔を作り、板染めの身体に付けました。なかよし組は、家から自分の作りたお雛様の材料を持ってきて、それぞれ個性豊かなお雛様が出来上がりました。

子ども達の作品一つ一つに思いがあり、ホールに飾ってお雛祭り会をするのが楽しみです。それぞれ家庭に持ち帰りますので、飾ってください。



## なかよし組駅伝大会

箱根駅伝に刺激を受けたなかよし組。3学期が始まるとすぐに駅伝をみんなでやりたいという提案から、グループ毎に好きな大学の名前を決めた襷を作り練習が始まりました。最初は園庭を周回していた子ども達。でも「それだとリレーだよ。」と気づき、どうしようかと考え、次は園内でコースを決め練習が始まりました。コース1周はなかなか大変。途中弱音を吐いている友達を見て、励ましたり作戦を考えたりと本格的になってきました。そして…

25日駅伝大会本番です。各チーム意気揚々とスタートラインに着きました。何回も走っているでコースはしっかり熟知しています。心なしか最初の時よりも走り方が様になり早くなったように思います。自分が走り終わると友達の応援や伴走をしている子ども達。自然と仲間意識が芽生えています。結果は、1位うみ大学、2位あおやま大学、3位きらきらにじ大学、4位チーター大学でした。それぞれメダルをもらってとても嬉しそうでした。子ども達のやる気を持続し高めていくことで自信につながり次への意欲につながることを実感しました。ちゅうりっぷ、ぺんぎん、きりん組の子ども達が周りで応援してくれました。



## 豆まき

2月3日の節分には、今年も赤鬼・青鬼が登場しました。各クラスで自分で作ったお面をかぶり、体の中の鬼を追い出し、園庭で段ボール鬼をやっつけていると本物の鬼がいちご・つくし組の子ども達を捕まえにやってきました。本当は怖いけど勇気を出して小さい子たちを守ろうと自分たちで作った豆を鬼に投げてやっつけました。最後は鬼と仲良しになって鬼は山に帰っていきました。



先日は休園のご協力ありがとうございました。まだまだコロナの感染は緩和されていないので、今後もお子様の体調管理をしていただき、発熱や風邪症状があるときは無理せずご家庭で過ごすようにしてください。また、お家の方にも同じような症状がある場合も同様です。園でも引き続き感染対策をしながら、子ども達の生活を保障していきたいと思ひます。